平月	成24年度	指定	管理者的	施設管理	!評価シート	部 教育委員会	事務局 課	児童保育課					
	施設名	称	[41]	東京都台	ま区立松が谷児童	館							
指定管理者の名称			社会福祉	Ŀ法人台東	区社会福祉事業団	指定期	間 H22.4.1	~ H27.3.31					
1.指定管理者の概要													
(1)業務内容			台東区の児童及び高齢者福祉の充実による区民福祉の向上を図るため、児童館や高齢者 福祉施設の管理・運営を行なう。										
	(2)類似施設の 管理実績		児童館 7	児童館7館、15こどもクラブ(平成23年末まで13こどもクラブ)									
(3)経営状況			(23年度決算ベース) [社会福祉事業会計] 収入2,801,147,502円, 支出2,609,179,684円,収支差額191,967,818円										
2 .	. 施設の概要	5											
(1)所在地		台東区松	公が谷4-	15-11									
(2)設置目的		児童に健	児童に健全な遊びを与えて、その健康を増進し、情操を豊かにすることを目的とする。										
(3)利用者		区内在住	Eの幼児が	\ら中学校終了まで	でを主たる対象とす	する。							
(4)開館日・時間		9:30	月曜日から土曜日:午前9:30~午後6:00、日曜日(第三日曜日を除く):午前9:30~午後6:00一部開放。 休館日 年末年始、祝祭日(5月5日は開放)										
(5)規模			R C 4 階建て 3 ・ 4 階 遊戯室・図書室・図工室・集会室・こどもクラブ室等 松が谷保育園併設										
(6)	人員体制	常勤職員	常勤職員3名、短時間職員5名										
3 .	. 事業(サー	- ビス	提供)の概	既要									
	禾 七 車 坐		児童の福祉を目的とする事業 児童館の利用を通して児童の情操の育成に資する事業 健全な遊びを通して児童の集団的及び個別指導を行なうこと その他、児童館の目的達成のために必要な事業										
(1)	委託事業					対反び個別指導を行	14722 ZWII	2、元里昭07日时					
	安託事業 ———— 自主事業		達成のた		な事業	り及び個別指導を作	14722 CM	5、元重時の日刊					
(2))推移	達成のた	めに必要	な事業	り及び他別指導を行	14722 CW	2、元重語の日刊					
(2)	自主事業)推移	達成のた	めに必要	な事業	21年度	22年度	23年度					
(2)	自主事業)推移	達成のた自主事業	:めに必要	でな事業								
(2)	自主事業 . 予算決算の		達成のた自主事業	: めに必要	で で で で で で で で で で で で で で で で で で で	21年度	22年度	23年度					
(2)	自主事業 . 予算決算の 委託料		達成のた 自主事業 19 ² 37,5	:めに必要	で で で で で で で で で で で で で で で で で で で	21年度 39,537,000	22年度 36,926,000	23年度 38,220,000					
(2)	自主事業 . 予算決算の 委託料 料金収入等 管理経費 委託料	<u> </u>	達成のた 自主事業 19 ^g 37,5	:めに必要 能は行って 年度 556,000 0	を事業 (いない 20年度 38,030,000 0	21年度 39,537,000 0	22年度 36,926,000 0	23年度 38,220,000 0					
(2) 4 . 予算	自主事業 . 予算決算の 委託料 料金収入等 管理経費 委託料 料金収入等	<u> </u>	達成のた 自主事業 19 [£] 37,8 37,8	きめに必要 神度 556,000 0 556,000 358,562 0	を事業 20年度 38,030,000 0 38,030,000 36,103,463 0	21年度 39,537,000 0 39,537,000 33,739,327 0	22年度 36,926,000 0 36,926,000 39,391,367 0	23年度 38,220,000 0 38,220,000 39,279,219 0					
(2) 4 . 予算	自主事業 予算決算の 委託料 料金収入等 管理経費 委託料 料金収入等	<u> </u>	達成のた 自主事業 19 [£] 37,8 37,8	を ・ 皮 ・ 皮 ・ ち 556,000 0 556,000 358,562 0 358,562	で事業 20年度 38,030,000 0 38,030,000 36,103,463 0 36,103,463	21年度 39,537,000 0 39,537,000 33,739,327 0 33,739,327	22年度 36,926,000 0 36,926,000 39,391,367 0 39,391,367	23年度 38,220,000 0 38,220,000 39,279,219 0 39,279,219					
(2) 4	自主事業 予算決算の 委託料 料金収入等 管理経費 委託料 料金収入等 管理経費 収支	<u> </u>	達成のた 自主事業 19章 37,5 37,5 33,5	主めに必要 羊度 556,000 0 358,562 0 358,562 0	を事業 20年度 38,030,000 0 38,030,000 36,103,463 0	21年度 39,537,000 0 39,537,000 33,739,327 0	22年度 36,926,000 0 36,926,000 39,391,367 0	23年度 38,220,000 0 38,220,000 39,279,219 0					
(2) 4	自主事業 - 予算決算の - 委託料 料金収入等 管理経費 - 委託料 料金収入等 管理経費 収支 - 施設の稼働	·····································	達成のた 自主事業 195 37,5 33,5 33,5	を ・ 皮 ・ 大 ・ 大	でま業 20年度 38,030,000 0 38,030,000 36,103,463 0 36,103,463 0	21年度 39,537,000 0 39,537,000 33,739,327 0 33,739,327 0	22年度 36,926,000 0 36,926,000 39,391,367 0 39,391,367 0	23年度 38,220,000 0 38,220,000 39,279,219 0 39,279,219 0					
(2) 4	自主事業 - 予算決算の - 委託料 料金収入等 管理経費 - 委託料 料金収入等 管理経費 収支 - 施設の稼働	<u> </u>	達成のた 自主事業 195 37,5 33,5 33,5	を は行って 手度 556,000 0 358,562 0 358,562 0 単位	でまります。 20年度 38,030,000 0 38,030,000 36,103,463 0 36,103,463 0 20年度	21年度 39,537,000 0 39,537,000 33,739,327 0 33,739,327 0	22年度 36,926,000 0 36,926,000 39,391,367 0 39,391,367 0	23年度 38,220,000 0 38,220,000 39,279,219 0 39,279,219 0					
(2) 4 . 予算	自主事業 - 予算決算の - 委託料 料金収入等 管理経費 - 委託料 料金収入等 管理経費 収支 - 施設の稼働	·····································	達成のた 自主事業 195 37,5 33,5 33,5	を ・ 皮 ・ 大 ・ 大	でま業 20年度 38,030,000 0 38,030,000 36,103,463 0 36,103,463 0	21年度 39,537,000 0 39,537,000 33,739,327 0 33,739,327 0	22年度 36,926,000 0 36,926,000 39,391,367 0 39,391,367 0	23年度 38,220,000 0 38,220,000 39,279,219 0 39,279,219 0					
(2) 4	自主事業 - 予算決算の - 委託料 料金収入等 管理経費 - 委託料 料金収入等 管理経費 収支 - 施設の稼働	·····································	達成のた 自主事業 195 37,5 33,5 33,5	を は行って 手度 556,000 0 358,562 0 358,562 0 単位	でまります。 20年度 38,030,000 0 38,030,000 36,103,463 0 36,103,463 0 20年度	21年度 39,537,000 0 39,537,000 33,739,327 0 33,739,327 0	22年度 36,926,000 0 36,926,000 39,391,367 0 39,391,367 0	23年度 38,220,000 0 38,220,000 39,279,219 0 39,279,219 0					
(2) 4 予算 決算 5 開館	自主事業 - 予算決算の - 委託料 - 管理経費 - 委託料 - 管理経費 - 収支 - 施設の稼働 - 指標 - E日数	· · · · ·	達成のた 自主事業 195 37,5 33,5 33,5	を は行って 手度 556,000 0 358,562 0 358,562 0 単位	でまります。 20年度 38,030,000 0 38,030,000 36,103,463 0 36,103,463 0 20年度	21年度 39,537,000 0 39,537,000 33,739,327 0 33,739,327 0	22年度 36,926,000 0 36,926,000 39,391,367 0 39,391,367 0	23年度 38,220,000 0 38,220,000 39,279,219 0 39,279,219 0					
(2) 4	自主事業 - 予算決算の - 委託料 - 科金収経費 - 委託料 - 管理経収及費 - 収費 - 収費 - 収費 - ・ ででは、 - ・ では、 - では、	· · · · ·	達成のた 自主事業 19年 37,5 33,5 33,5 第(活動打	を は行って 手度 556,000 0 358,562 0 358,562 日	でま業 20年度 38,030,000 0 38,030,000 36,103,463 0 36,103,463 0 20年度 334	21年度 39,537,000 0 39,537,000 33,739,327 0 33,739,327 0 21年度 333	22年度 36,926,000 0 36,926,000 39,391,367 0 39,391,367 0	23年度 38,220,000 0 38,220,000 39,279,219 0 39,279,219 0 23年度 335					

7. 平成23年度評価結果に対する現在までの取組み

- ・老人館や老人会、障害者団体、学校との協力と交流を通して多世代交流を積極的に図った。
- ・幼児と小学生の混乱を分け、乳幼児向けの遊具を充実させるなど、両者が過ごしやすいような 環境整備を行った。
- ・行事の見直しを行い、日常活動の充実を図って、目的なく来館する児童の交流を支援した。 ・子どもの自主企画行事を実施し、小学生や中高生のボランティアの育成を図った。

8.評価項目	3:協定等の水準を			0:協定等の水準を下回っている。				
	2:協定等の水準ど		. 7	- : 評価対象外項目。				
物体の知り	1:おおむね協定等 							
評価の観点		評	価	項目				
	(a)施設の目的達	成	[2]	(f)開館時間等の遵守	[2]			
(1)事業の運営	(b)サービス水準		[2]	(g)自主事業の成果	[-]			
平均 [2.1]	(c)職員配置		[2]	(h)個人情報保護	[2]			
	(d)職員研修		[2]	(i)緊急時対応	[3]			
		[2]	(j)警備・防犯体制	[2]				
	備機器点検	[2]	(e)危険箇所等の確認	[2]				
(2)施設の維持管理	(b)備品の管理		[2]	(f)管理記録の作成・保存	[2]			
平均 [2.0]	(c)清掃・衛生管	理	[2]	(g)業務委託の事前承認	[2]			
	(d)施設の修繕		[2]	(h)省エネ・省資源・環境配慮	[2]			
(3)利用者の満足度	(a)利用者・第三	者機関の評価	[2]	(d)利用しやすい環境整備	[2]			
平均 [2.0]	(b)苦情・要望へ	の対応と報告	[2]	(e)関係団体・地域との関わり	[2]			
	(c)利用者数の目	標達成	[2]					
(4)歳入歳出	(a)適正な予算執	行	[2]	(c)収支計画の達成	[2]			
平均 [2.0]	(b)経費縮減のた	めの取組み	[2]	(d)利用料等の徴収・管理	[-]			
9 . 評価	S (水準以上)	・協定等の	水準を満た	こし、一部に水準を上回る内容がある。				
	A (適正)			さず管理が行われている。				
	B (一部課題あり) : 協定等の水準を満たしているが、一部に課題がある。							
	C (課題あり)	としているが、課題が複数ある。						
が伝み知と	D(水準未満)	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		こしていない。				
評価の観点	評 価		説	明				
				ボランティアに育成し、子ども自主企 キの機会を作るとともに、 喜齢者との				
(1)事業の運営	A	営に関わらせることで交流の機会を作るとともに、高齢者とのふれ合い等、多世代交流を行い、児童健全育成の拠点としての役割を果たし						
				心避難訓練を定期的に行っている。				
			h 古女I用 t	か				
(2)施設の維持管理	Α			整頓を行うとともに、年齢別の遊び場 こ、施設の修繕については、自主的に				
		適正な管理がなさ			-130.			
	•			皆は減少したが、各年齢が充分過ごも				
(3)利用者の満足度	A			や利用者交流の促進により、いきいき				
		このことが出来(いったり	か、利用者からは良い評価を得てい <i>る</i>	ο.			
		館内の環境をかき	きオスたと	り、小破修繕を行なったことで経費 <i>か</i>	べ+色 廿□ Ⅰ			
(4)歳入歳出	Α			り、小阪修繕を付なうにことで経賃が 毛品の一括購入、節電・節水など職員				
,,,,,,,	/ \	経費削減に取り組						
10 松合並無	自权 双尖 西奴九 西功美 <i>不</i> 海							
10.総合評価	良好 妥当 要努力 要改善 不適							
		幼児親子の利便性を向上するとともに、小学生・中高生ボランティア						
	妥当			合いなど、利用者の交流を促進し、傾 - スロス	建全育成			
		の拠点としての役	を担:	つ (いる。				

11. 平成24年度評価結果に対する今後の対応

ふらっと来館する児童の利用が次の活動への参加に繋がるよう、異世代・異年齢の交流をさらに図る。 また、地域関係機関との連携を深めて、児童健全育成の拠点として、様々な活動の提供を行なう。